

記入例：パターン1

提出年月日	2026年5月15日	
提出者	学校名	青森県立つがる高等学校
	メンバー氏名 (ふりがな)	陸奥 太郎 (むつ たろう)
		青森 花子 (あおもり はなこ)
		※以下同様に記入
返送・確認先	メールアドレス	aomori@△△.jp
	メールアドレス所有者氏名	陸奥 太郎

チームメンバー全員の氏名を記載してください。  
※実際の応募時には変更となってもよいです。

(企画内容)

<経緯>

- メンバーが所属しているラグロス部は部員不足が課題となっています。そのような中で、「部活動の地域移行」を知り、先進事例としてドイツの「スポーツフェライン（市民クラブ）」に学ぶことが多いのではないかと考えました。

企画内容の記載方法の指定はありませんが、パターン1では様式第1号（海外フィールドワーク企画書）ベースで作成しています。  
📌 まずはワークシートに取り組んでみることをおすすめします。

<現状と課題>

- 人口減少により、1つの学校内での部活動維持が困難。指導者の確保も難しい。
- 学校単位の活動に依存しすぎているため、学校を卒業するとスポーツを辞めてしまうことも多い。（学校内でアンケートを取り、70%が卒業後継続しないとの回答があった。）

<仮説>

- 多世代・多種目・低コストで運営され、学校ではなく「街」がスポーツ拠点となっているドイツのモデルを参考にすれば、県内でも「地域で支え合う新しいスポーツ環境」が構築できるのではないかと考えました。

<渡航先> ドイツ（フランクフルト）

<フィールドワーク内容>

- 現地スポーツクラブへのヒアリング：会費制度、ボランティア指導者の確保、行政からの支援などの調査。
- 現地の高中生とのディスカッション：「クラブで活動するメリット」「日本の部活制度について」など意見交換し、よりよいスポーツ環境の検討を行う。
- 練習への参加：地域の方々が活動する様子を実際に参加して観察。
- フランクフルト市のスポーツ局への訪問：行政側へのヒアリング

【留意事項】

- A4で2枚以内とすること。（本票のみの枚数。本票の補足資料として「企画アドバイスワークシート」を別途添付してもよいです。）
- 1チームにつき1回まで。複数回送付していると判断される場合は対応し兼ねる場合があります。
- アドバイスは募集要項の審査基準(案)に基づき、企画をより良くするために参考としていただくものです。
- 高校生海外フィールドワークチャレンジ2026における採択等を保証するものではありません。

(アドバイス内容)

実体験から「部活の地域移行」という社会課題にまでつながっている点がとても良いです。まずは一番課題だと感じている部分を絞りましょう。「部活が継続できないこと」なのか、「生涯スポーツの環境がないこと」なのか。そのうえで、フェラインの仕組みのどこがその課題を解決してくれるか考えてみてください。ドイツと青森の人口規模や文化の違いから「真似できる部分」「変えるべき部分」を分けて考えておくと、帰国後の提言に説得力が出ます。

企画に対するアドバイスなどをこちらに記載し、メールで返送します。

記入例：パターン2

提出年月日		2026年5月15日	
提出者	学校名	青森県立つがる高等学校	
	メンバー氏名	陸奥 太郎 (むつ たろう)	
		青森 花子 (あおもり はなこ)	
		※以下同様に記入	
		<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 10px; padding: 5px; width: fit-content;">                     チームメンバー全員の氏名を記載してください。                      ※実際の応募時には変更となってもよいです。                 </div>	
返送・確認先	メールアドレス	aomori@△△.jp	
	メールアドレス所有者氏名	陸奥 太郎	
<p>(企画内容)</p> <p>部員が少なくて廃部になりそうな私たちのラクロス部を守りたいです！                      日本では学校の部活が当たり前ですが、ドイツではあまり部活動はなく、地域のクラブでスポーツを楽しむのが普通だと調べました。                      実際にドイツへ行き、現地の高校生がどうやってスポーツを楽しんでいるのか直接聞いてみたいです。                      そこで学んだ『学校に縛られないスポーツの形』を青森に持ち帰り、部員不足の部活動に取り入れる活動をしてみたいです。</p>			

【留意事項】

- ・A 4で2枚以内とすること。(本票のみの枚数。本票の補足資料として「企画アドバイスワークシート」を別途添付してもよいです。)
- ・1チームにつき1回まで。複数回送付していると判断される場合は対応しかねる場合があります。
- ・アドバイスは募集要項の審査基準(案)に基づき、企画をより良くするために参考としていただくものです。
- ・高校生海外フィールドワークチャレンジ2026における採択等を保証するものではありません。

(アドバイス内容)

自分たちの部活動の課題からテーマを立てている点がとても良いです。まず、ドイツの仕組みについて、会費・運営方法・会員の年齢層・特に優れた部分などを並べてみましょう。具体的な数字や仕組みが見えると、何が自分たちの活動に活かせそうなのかが見えてきます。その上で、一番解明したいことを絞みましょう。「現地で誰に何を聞けばいいか」が自然と絞れ、企画全体が一気に具体的になります。

企画に対するアドバイスなどをこちらに記載し、メールで返送します。